

冬場の運動不足を解消！ 三世代続く“新春竹馬運動会”

宮城県丸森町立金山小学校

全校児童数	30名(男子12名 女子18名)
全クラス数	4クラス(内特別支援学級 0クラス)
教職員数	8名(内体育専科0名)
地域のスポーツ指導者の活用(年間延べ人数)	0名

Plan…取組時の課題と目的

1 取組時の課題

本校は宮城県の最南端に位置し、県内では比較的温暖な地域にあるが、それでも冬の寒さは厳しい。外遊びが好きな子供たちも、12月から2月にかけては、ほとんど外遊びをしなくなり、冬場の運動不足は昔からの課題であった。

2 取組の目的

- ① 日本古来の遊びである「竹馬」に親しみ、その技術を身に付け楽しむことができる。
- ② 共通の経験や活動を通して、学校の一員として協力しようとする気持ちを育てるとともに、進んできまりを守り、責任を果たそうとする態度を養う。
- ③ 運動会の練習や競技を通して、寒さに負けない丈夫な体をつくる。

Do…取組の内容

1 新春竹馬運動会

昭和47年(1972年)1月、本校の元教員を中心に、冬場の子供たちの体力づくりをねらいとして始められた。その後、一度も中止されることなく、平成30年度で48回目を数える金山小学校の伝統行事となっている。

【運動会の主な流れ(H29の例)】

- ① 下学年はやかけNo.1(1~3年)
※ 竹馬での30メートル走
- ② 竹馬サッカー(4~6年)
※ 5分間の試合とPK戦
- ③ 上学年はやかけNo.1(4~6年)
※ 竹馬での30メートル走
- ④ つないで・つないで(1~3年)
※ 竹馬での障害物リレー
- ⑤ 金山クロスカントリー(オープン参加)
※ 約500メートルのコースでのクロスカントリー
- ⑥ さがしものは何ですか(オープン参加)
※ 竹馬での探し物競争
- ⑦ 紅白対抗たてわりリレー(全校)
※ 竹馬での全校リレー

オープン参加の競技には、保護者や祖父母も参加可能で、三世代がそろって競技することもある。



2 竹馬級認定カード

11月の校内持久走大会が終わると、すぐに子供たちに「竹馬級認定カード」が配付される。子供たちは、待っていましたと言わんばかりに校庭へ飛び出し、級認定に取り組んでいる。

級は、13級「竹馬の上に両足を乗せることができる」から、特級「クロスカントリーコースを3分以内で走ることができる」まであり、中には「長なわ跳びを5回以上跳ぶことができる」というものもある。

●工夫したこと

運動会の競技は、伝統的な競技(はやかけ、サッカー、クロスカントリー等)を大切にしながらも、毎年見直しを図り、子供たちが興味をもって、楽しく運動に取り組むことができるようにしている。

級認定カードの結果は、職員室前の掲示板「竹馬進級板」にも掲示している。みんなの目に触れるところに掲示することで、一人一人の頑張りをみんなで認めるとともに、子供たちの競争心や向上心も高められるようにしている。

Check…取組成果の評価

竹馬をはじめ、マラソンや水泳、なわ跳び等にも全校で計画的・継続的に取り組んできた結果、平成30年度の新体力テストの結果では、県平均と全国平均を上回る種目が多く見られた(53種目)。特に、1年生女子と4年生男子では、すべての種目で県平均と全国平均を上回ることができた。

Action…今後の課題

竹馬を使った冬場の体力づくりはこれからも継続していくが、児童数やPTA会員数、教職員数の減少により、運動会の運営自体が難しくなっている。運動会は、地域の伝統行事であり、子供たちの成果発表の場でもあるので継続していきたいが、縮小等も検討していかなければいけない時期にきている。

◎体力の向上の取組がもたらす波及効果

本校では、昭和50年代からかぜやインフルエンザが大流行したことがないとのことである。校庭で竹馬に乗ることはもちろんのこと、竹馬には薄着・裸足で乗ること、竹馬の後は手洗い・うがいをしっかりすること等、竹馬に関する一連の動きが子供たちの健康にとってもよい効果を生んでいるのではないかと感じている。

丈夫な体をつくる取組が、「頑張る心」を養い、学習への取組に効果を上げている。

さらには、三世代が集い、素足の子供たちの足を温める気遣いや運動会後に全員で食べる雑煮など、地域のつながりを強くしている波及効果は大であると言える。